

## 市立中学校の紹介

(生徒数・学級数は、令和4年5月1日現在)

### 学校紹介の内容

- <教育目標>
- <研究主題>
- <重点教科等>
- <特色ある学校づくりへの取組>

- (1) キャッチフレーズ
- (2) 取組内容
- (3) 成果

など

## 草加中学校

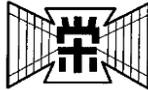
創立年月日 昭和22年4月1日  
学級数 24学級 校長 森 寿義  
生徒数 772人 教頭 小野 陽子



- <教育目標>  
目標を持ち、努力する生徒
- <研究主題>  
指導方法の工夫改善を行い、生徒一人ひとりを伸ばし育て
- <重点教科等>  
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
  - (1) 生徒の目指す学校(スローガン)「あ・か・つ・き」の実践
    - あ・・・明るい あいさつ(規律)
    - か・・・活発な かつどう(自主)
    - つ・・・強い つながり(友情)
    - き・・・今日を きり開く(向上)
  - (2) 取組内容
    - ① 「いまをたくましく生きる」ための確かな学力を育む学習指導
    - ② 「いまをたくましく生きる」ための生徒指導
    - ③ 幼保小中を一貫した教育の推進
    - ④ 地域とともにある学校づくりの推進
    - ⑤ 「いまをたくましく生きる」ための健康教育・安全教育の充実
    - ⑥ 多面的・多角的に考える生徒を育む道德教育の推進
    - ⑦ ノーマライゼーションの視点をもつ特別支援教育の充実
    - ⑧ 「いまをたくましく生きる」ための進路指導の推進
  - (3) 成果
    - 生徒一人ひとりが向上心を持ち、共に協力し合う学校が醸成されている。
    - 基礎・基本の定着・部活動の活躍など文武両道を実践している。

## 栄中学校

創立年月日 昭和22年4月1日  
学級数 17学級 校長 大野 正浩  
生徒数 509人 教頭 朝比奈 智



- <教育目標>  
自ら学び考え行動する生徒(知)  
豊かな心を持ち思いやりのある生徒(徳)  
健康でたくましい生徒(体)
- <研究主題>  
自己肯定感・自己有用感をはぐくむ教育の推進  
～学び合い・認め合い・高め合う生徒の育成～
- <重点教科等>  
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>  
「いいとこ探しの学校」
  - (1) キャッチフレーズ  
【さ】爽やかなあいさつ 【か】輝く笑顔 【え】英気あふれる
  - (2) 取組内容
    - ① 各教科の基礎・基本の定着及び確かな学力の向上
      - ・補充学習 ・言語活動の充実 ・ICT機器の活用
      - ・主体的・対話的で深い学びの確立に向けた授業改善
    - ② 生徒指導の充実
      - ・あいさつ ・言葉づかい ・規範意識 ・授業態度
    - ③ 学校行事の充実
      - ・目標の明確化 ・体験活動の推進 ・ボランティア活動
    - ④ 環境教育の充実
      - ・清掃活動 ・緑化活動 ・リサイクル活動 ・さかえ農園
    - ⑤ 豊かな心の育成
      - ・いじめ、暴力の根絶 ・人権、命の尊重 ・道德教育
  - (3) 成果
    - 幼保小中を一貫した教育の推進により、「学力向上プラン」の質が高まり、各種調査結果に向上が見られた。
    - ボランティア活動に積極的に参加することで、学校・家庭・地域との協働が推進された。

## 谷塚中学校

創立年月日 昭和22年4月1日  
学級数 20学級 校長 本間 錦一  
生徒数 636人 教頭 市村 耕治



- <教育目標>  
学び合う生徒(知) 思いやる生徒(徳) 高め合う生徒(体)
- <研究主題>  
生徒の主体的・対話的で深い学びの実現にむけた授業づくり  
～生徒一人一人の自己肯定感、有用感の育成に向けて～
- <重点教科等>  
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
  - (1) キャッチフレーズ(学校経営方針)  
生徒、教職員、保護者、地域が誇りに思う谷塚中学校  
努力が喜びとなる学校 安心、安全で規律のある学校 信頼されるよき校風のある学校
  - (2) 取組内容
    - ① 個に応じた適切な対応
      - ・不登校生徒への積極的な対応(未然防止、初期対応、自立支援)
      - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした配慮を要する生徒に対する指導の推進及び教育相談部を中心とした校内研修の推進
      - ・生徒の特性に合わせた教育措置(特別支援学級での体験入級等)
    - ② 豊かな心の育成(道德教育の充実)
      - ・ローテーション授業の導入による道德教育の質的向上
      - ・道德的価値の理解を自分自身との関わりの中で深められる心の醸成
      - ・教科、領域をとおして自己肯定感を高める活動の推進
    - ③ 確かな学力(学力の向上)
      - ・学力中間層を伸ばす活動の工夫
      - ・「話し合いマニュアル」を活用した主体的・対話的で深い学びの実践
    - ④ 幼保小中を一貫した教育の推進
      - ・小中間で読書活動推進研究の実施
    - ⑤ 地域とともにある学校づくりの推進
      - ・学校運営協議会において、学校経営、目指す学校像、重点目標、学習支援について協議し、ねらいについて共有する。
  - (3) 成果
    - コロナ禍で活動は制限されたが、その中でも生徒たちは落ち着いた学校生活を送った。学校行事、生徒会活動等への参加、さわやかなあいさつ、授業規律の定着、授業への積極的な参加、話し合い活動の充実、家庭学習の充実が図られた。部活動の積極的な参加が促され、大会等でよい成果を上げることができた。

# 川柳中学校

創立年月日 昭和22年4月1日  
 学級数 14学級 校長 及川 祐一  
 生徒数 423人 教頭 江口 和彦



- <教育目標>  
賢く 優しく 逞しく
- <研究主題>  
自己肯定感・自己有用感を高められる児童生徒の育成  
～わかる・できる・楽しいと児童生徒が実感できる授業を通して～
- <重点教科等>  
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) 目指す学校像  
自ら学び、心豊かで、逞しく生きる生徒と、それを支える教育愛に満ちた教職員が集う、保護者・地域とともにある学校
- (2) 取組内容
- ① 「主体的・対話的で深い学び」の視点の授業改善と学習習慣の確立による学力の向上  
・「授業の5か条」「学びの5か条」をもとにして、学校組織全体で授業改善を図る。  
・ICT機器やICT支援員の活用を図り、効果的に活用する。
- ② 生徒を認め、鍛え、育む中での豊かな心と逞しい体の育成  
・全教職員の共通理解に基づいた校内生徒指導体制を確立し、校内規律・授業規律（授業規律の5原則）を徹底し、生徒の望ましい生活習慣を育成する。
- ③ 幼保小中を一貫した教育の推進  
・幼保小中連絡協議会を組織し、目指す子ども像、幼保小中15年間を通じた教育課程を編成する。
- (3) 成果  
○全校生徒が落ち着いた学校生活を送っている。  
○アンケート等で、『学校生活が楽しい』と答える生徒が90%を超えている。  
○学校生活全般にわたる「自己肯定感の向上」を目指した取組が主体的な活動姿勢につながってきている。

# 新栄中学校

創立年月日 昭和49年4月1日  
 学級数 21学級 校長 諏訪 太介  
 生徒数 654人 教頭 土谷 守人



- <教育目標>  
自ら学ぶ生徒 ～意欲的な学習・学力向上・進路実現～  
思いやりのある生徒 ～人の気持ちが分かる生徒～  
健康でたくましい生徒 ～規則正しい生活と心身の健康～  
正しい行動のできる生徒 ～規律を守り行動に責任をもつ～
- <研究主題>  
夢や希望を持ち、学び続ける子どもの育成  
～主体的に学びに向かう力の育成を通して～
- <重点教科等>  
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ  
AKBの新栄中「あいさつの新栄中」「活力の新栄中」「勉強の新栄中」
- (2) 取組内容  
笑顔、元気で主体的に学ぶ新栄中生  
～よりよく生きる力の育成～
- ① 朝読書、基礎・基本を重視した授業、基礎学力テスト、授業6ヶ条、英語検定、漢字検定、学習相談
- ② PTAと連携した朝のあいさつ運動  
環境教育（綾瀬川ピオトープ保護活動、野鳥観察会）  
全校で協力して取り組む行事（体育祭、しらさぎ祭）
- ③ 基礎体力づくり 種目選択体育授業・活発な部活動
- ④ 幼保小中を一貫した教育の推進  
（乗り入れ授業の実施、合同研修会、幼保小中地域連絡協議会）
- (3) 成果  
○朝読書や授業を通して基礎・基本の定着及び学力の向上が図れた。今年度も引き続き「読書活動の充実」を目指す。  
○環境教育やスキル教育の実践により、豊かな心や社会性が着実に身に付いてきている。

# 瀬崎中学校

創立年月日 昭和51年4月1日  
 学級数 20学級 校長 飯島 隆  
 生徒数 655人 教頭 神田 研二郎



- <教育目標>  
自らの生き方を考え、実践する生徒の育成「よりよく生きる」  
「ま」・・・学び続ける生徒  
「つ」・・・強い体をもつ生徒  
「な」・・・仲間を思いやる優しい心をもつ生徒  
「み」・・・みんな仲良く笑顔あふれる生徒  
「き」・・・希望をもち夢に向かって努力する生徒
- <研究主題>  
確かな学力と豊かな心を育成し、たくましく生きる生徒の育成  
～自己肯定感・自己有用感を育む授業改善を通して～
- <重点教科等>  
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) ①あいさつ日本一 ②響きわたる合唱 ③心を込めた清掃 ④活力ある部活動 ⑤一人ひとりのよさ・違いを認め合う学校
- (2) 主な内容
- ① 幼保小中を一貫した教育に係る交流の推進、小中乗り入れ授業による体育授業交流、他授業見学等
- ② 生活習慣の定着  
【授業の5原則】  
・授業の用意をして待つ・チャイム着席・あいさつしっかり・忘れ物をしない  
・むだ話をしない
- ③ 基礎学力、学習態度の定着  
・一人ひとりの学力の伸びの状況把握・一人ひとりに活躍の場面、出番をつくる  
・日々の規律と授業を一番大切にす。ワークシート・小テスト等の内容の工夫等  
・少人数、T-T、学習補助員、学習形態の工夫
- ④ 教育環境の整備  
・あいさつ運動（生徒・職員・保護者での愛の一声運動）、ボランティア活動（高齢者運動会）、瀬中宣言にもとづく生徒会と専門委員会活動、放課後の無言清掃
- (3) 成果  
○昨年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、学校運営協議委員やPTAの協力のもと、感染対策を徹底しながら、最適な形で宿泊行事以外の各行事を実施することができた。  
○感染症予防対策や朝の健康観察・消毒活動、清掃活動を工夫して生徒と教員が一体となって取り組んできたことで、安心安全で落ち着いた学校生活を送ることができた。さらに、タブレットによる授業のオンライン配信など、よりよく生きる教育目標の実現のために生徒自身が努力してきた。生徒自身が知恵をしまし努力したことを学校や地域によりよいかたちで役立てていこうとする力が身に付いてきている。

# 花栗中学校

創立年月日 昭和52年4月1日  
 学級数 12学級 校長 山根 明  
 生徒数 366人 教頭 橋本 哲



- <教育目標>  
自ら考え、心豊かに、たくましく生きる  
学力を伸ばす生徒（知）  
豊かな心を育てる生徒（徳）  
心身共に健康な生徒（体）
- <研究主題>  
言語活動を充実し、生徒一人ひとりが主体的に取り組む授業、諸活動  
・わかる授業の推進と基礎学力の定着  
・課題解決能力をもった生徒の育成  
・豊かな心を育む道徳の時間の充実
- <重点教科等>  
全教科・全領域
- <特色ある学校づくりへの取組>
- (1) キャッチフレーズ  
夢 ふれあい 感動のある学校 花栗中学校  
～地域と共にある学校づくり～
- (2) 取組内容 幼保小中を一貫した教育の推進
- ① 学習指導の充実  
・言語活動の充実と課題解決能力の育成  
・授業規律の確立、家庭学習を習慣化させる取組
- ② 生徒指導・教育相談の充実  
・「目をかけ、手をかけ、声をかける」指導の促進  
・メンタルヘルス研究推進校（R3～R5）
- ③ 豊かな心を育む教育の推進  
・明るい挨拶が交わされる人間関係づくり  
・体験活動や実践活動の充実  
・人権教育・道徳教育・読書活動の充実
- (3) 成果  
○様々な教育活動を通して、特に個別最適な学びや協働的な学びの充実から、生徒一人ひとりの安心安全を確保し、落ち着いた学校づくりが進められた。また、そこから自己存在感や自己有用感の醸成につながることができた。

# 両新田中学校

創立年月日 昭和54年4月1日  
 学級数 16学級 校長 上野 雅祥  
 生徒数 505人 教頭 綿貫 稔



<教育目標>  
 【自ら学び 心豊かに たくましく】  
 ○ 自ら学び (知)  
 ・自分の考えをもつ・正しく判断し行動する・目標をもち努力する  
 ・基礎的、基本的な知識や技能を必要に応じて柔軟に活用できる  
 ○ 心豊かに (徳)  
 ・互いの良さや努力を認め合う・態度や行動に示し主体的な実践をする  
 ・多くの人に支えられていることを自覚し、他の人に思いやりをもって親切にできる  
 ○ たくましく (体)  
 ・困難を克服する力や健やかな体を目指す 規則正しい生活習慣確立  
 ・体力向上に努め、あきらめず、粘り強く、物事に取り組む

<研究主題>  
 基礎学力の定着を図る授業力向上を目指して  
 ～生徒の自主性を引き出す、魅力ある「わかる」授業づくり～

<重点教科等>  
 全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>  
 (1) 自己肯定感・自己有用感を育む授業改善  
 ・草加っ子の学びを支える授業の5か条の実践・授業規律の徹底  
 (2) 幼保小中を一貫した教育の推進  
 ・両新田中学校区の目指す子ども像の共有と実践  
 ・小中合同で行う取組の充実  
 (3) 安全・安心で開かれた学校づくり  
 ・安全指導の徹底・中学校区での合同避難訓練の実施  
 (4) 生徒指導、教育相談、特別支援教育の充実  
 ・積極的、組織的な生徒指導、教育相談体制の整備と充実  
 ・個々の障がいの状態に応じた指導内容、指導方法の工夫  
 (5) 心豊かに生きる生徒の育成  
 ・道徳教育の充実 (考え議論する道徳の授業実践)・人権教育の充実

<成果>  
 ○草加っ子の学びを支える授業の5か条を意識した授業を実践したことで、生徒に基礎的な学力を定着させることができた。  
 ○小中あいさつ運動や乗り入れ授業等を通して、小中で連携した教育を進めることができた。

# 新田中学校

創立年月日 昭和55年4月1日  
 学級数 16学級 校長 小林 和広  
 生徒数 472人 教頭 渡辺 真一



<教育目標>  
 豊かな心と学ぶ意欲をもち 広い世界でたくましく生きる生徒

<研究主題>  
 学びの生活化・社会化  
 ～人・地域・自然との関わり 15歳の姿を育む～

<重点教科等>  
 全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>  
 1 めざす学校像  
 大きな夢 明るいあいさつ 美しい心 きれいな学校  
 2 取組内容  
 (1) 学ぶ意欲が向上する学校  
 ◎ 主体的・対話的で深い学びの追求  
 ◎ 基礎・基本の習得と活用  
 ◎ 一人ひとりのフォローアップの充実  
 (2) 豊かな心が育成する学校  
 ◎ 美しい教育環境が整った学校を教職員と生徒で創造  
 ◎ 読書活動の充実  
 ◎ 特別活動の充実  
 ◎ 特別の教科 道徳の授業の充実  
 (3) 心身が健康でたくましい生徒を育成する学校  
 ◎ 保健体育・性教育・安全教育・防災教育の推進  
 ◎ 生徒に寄り添った生徒指導・教育相談の充実  
 ◎ 不登校の減少の取組 ◎ 体育授業、部活動での体力向上  
 (4) 中学校区の幼保小中が連携した学校  
 ◎ 「草加っ子生きる力」研究の推進  
 ◎ ペアスクールとしての絆を深めた「自己有用感」を実感させる教育活動  
 ◎ 幼保小中を一貫した授業研究の実施  
 ◎ 地域懇談会・学校運営協議会の充実した運営

3 成果  
 ○様々な学習活動・体験活動を通して、生徒の学ぶ意欲と豊かな心が一層育まれてきている。また、生徒一人ひとりが自己存在感・自己有用感を感じてきている。

# 青柳中学校

創立年月日 昭和56年4月1日  
 学級数 17学級 校長 笠井 誠司  
 生徒数 539人 教頭 平野 修



<教育目標>  
 自ら考え実践する生徒 (知)  
 心豊かで思いやりのある生徒 (徳)  
 健康でたくましい生徒 (体)

<研究主題>  
 学ぶ喜びを味わわせる授業の創造  
 ～学級校経営を基盤として～

<重点教科等>  
 特別活動・生徒指導・教育相談の充実

<特色ある学校づくりへの取組>  
 (1) 青柳中学校区の目指す「児童生徒像」  
 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童生徒  
 (2) 取組内容  
 ① 自ら考え実践する生徒を育成する授業改善  
 ・主体的・対話的で深い学びの追求  
 ② 心豊かで思いやりのある生徒を育成する活動の充実  
 ・生徒会活動・学校行事の充実  
 ③ 健康でたくましい生徒を育成する生徒指導の推進  
 ・生徒理解に基づく生徒指導・教育相談の充実  
 ④ 幼保小中を一貫した教育の研究と実践  
 ・小中学校間での情報共有と連携による効果的な指導の実践  
 ⑤ 地域とともにある学校づくりの推進  
 ・学校運営協議会を中心としたコミュニティースクールの実施  
 (3) 成果  
 学力向上のための授業改善に全職員で取り組むことにより、深い学びにつなげることができた。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を施しながら生徒会活動や学校行事に取り組ませることにより、心身の健全な発達を図ることができた。

# 松江中学校

創立年月日 昭和60年4月1日  
 学級数 14学級 校長 遠藤 淳一  
 生徒数 426人 教頭 宮本 雅章



<教育目標>  
 ま : 学ぶ意欲のある生徒 < かしこさ >  
 つ : 強い心と体をもつ生徒 < たくましさ >  
 え : 笑顔あふれる生徒 < あたたかさ >

<研究主題>  
 自ら学び、共に高め合う児童生徒の育成  
 ～各教科の指導と評価の一体化を通して～

<重点教科等>  
 全教科・全領域

<特色ある学校づくりへの取組>  
 (1) キャッチフレーズ  
 子どもが誇りのもてる学校に  
 ～『松中プライド』の育成を～  
 (2) 取組内容  
 ① 子どもへ達成感と充実感を！  
 ・教師一人ひとりの授業力の向上  
 ・集団活動を通した豊かな人間性の育成  
 ② 子どもの居場所づくり  
 ・共感的な人間関係の育成  
 ・教育環境の整備  
 ③ 「幼保小中を一貫した教育」の継続・推進  
 ・「主体的・対話的で深い学び」の研究推進  
 (3) 成果  
 ○学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちを温かく見守ることで、子どもたちの相手を思いやる心が育ってきている。  
 ○「主体的・対話的で深い学び」の研究を推進することで、子どもたちの学習意欲が向上してきている。